

『市民舞台芸術学校』の劇場講座としてトークセッションを3回行います。
コロナ禍にいかに対策して稽古、公演を実現してきたか、公演中止や延期の際の対応とは…
最前線の演劇人たちが劇場界の今を語ります。



ナビゲーター(全回)

徳永 京子(とくなが きょうこ)

演劇ジャーナリスト。朝日新聞首都圏版で劇評を執筆。演劇専門誌act guideに『俳優の中』連載中。ローソンチケット『演劇最強論-ing』企画・監修・執筆。公演パンフレットやweb媒体、雑誌などにインタビュー、作品解説、レビューを執筆。東京芸術劇場企画運営委員。せんがわ劇場演劇事業外部アドバイザー。読売演劇大賞選考委員。
著書に『「演劇の街」をつくった男一本多一夫と下北沢』、『我らに光を』、『演劇最強論』(藤原ちから氏と共著)。



演出家

藤田 俊太郎(ふじた しゅんたろう)

1980年生まれ、秋田県出身。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業。近年の主な演出作は『ジャージー・ボーイズ』『ミュージカルVIOLET』(英国版/日本版)、『絢爛豪華 祝祭音楽劇「天保十二年のシェイクスピア」』『ミュージカルNINE』『LOVE LETTERS』『東京ゴッドファーザーズ』等。読売演劇大賞の第22回優秀演出家賞・杉村春子賞、第24回最優秀作品賞・優秀演出家賞、第28回優秀作品賞・最優秀演出家賞、第42回菊田一夫演劇賞、第42回松尾芸能賞優秀賞と受賞多数。

第1回

演出家として公演中止や延期の経験で考えた事、公演実現の際の喜びとは…

演出家 藤田 俊太郎

日時: 2021年9月5日(日) 14:00~16:00

会場: 関戸公民館 ヴィータホール

第2回

プロデューサーとして、
芸能プロダクション社長としての苦闘

株式会社ワタナベエンターテインメント 代表取締役社長
渡辺 ミキ

日時: 2021年10月2日(土) 14:00~16:00

会場: 関戸公民館 大会議室

第3回

俳優としてコロナ禍にいかに対峙したか...更に深まる演劇への思い

俳優 岡本 健一

日時: 2021年10月24日(日) 14:00~16:00

会場: LINK FOREST(リンクフォレスト) 研修室



株式会社ワタナベエンターテインメント 代表取締役社長

渡辺 ミキ(わたなべ みき)

1960年、東京都出身。女優、ミュージカルプロデューサーを経て、87年に渡辺プロダクション取締役、95年に渡辺エンタープライズ代表取締役副社長に就任。2000年にワタナベエンターテインメントを設立。俳優・ミュージシャン・芸人など数々のアーティストを発掘、育成。主なプロデュース作品は『宮本武蔵(完全版)』(第24回読売演劇大賞優秀作品賞受賞)『ザ・ヒットパレード〜ショウと私を愛した夫〜』『関数ドミノ』『PIPPIN』『物理学者たち』等。昨年よりコロナ禍で設立された「緊急事態舞台芸術ネットワーク」世話人を務める。



俳優

岡本 健一(おかもと けんいち)

1985年ドラマ『サーティーン・ボーイ』、88年には男闘呼組のメンバーとして歌手デビュー。その後、ドラマ、映画、舞台と幅広く活躍。2011年『恋人』、12年『地獄のオルフェウス』などで演出家としても活動。読売演劇大賞の第12回、第17回優秀男優賞、第26回最優秀男優賞、第45回菊田一夫演劇賞、第55回紀伊國屋演劇賞、第71回芸術選奨文部科学大臣賞と受賞多数。近年の主な舞台は『パレード』『岸 リタル』『ヘンリー五世』『メタルマクベスdisc2』『グレイクリスマス』『海辺のカフカ』『リチャード二世』『カメロンズ・リップ』『森 フォレ』など。

『市民舞台芸術学校』 劇場講座

トークセッション

劇場は今